

第1回 いしかり eco 未来会議 開催結果報告書

1. 開催概要

日 時：令和元年12月18日（水） 18：30～20：30

場 所：石狩市役所 401 会議室

参加者：12名

講 師 北海道大学大学院 農学研究院 松島 肇 氏

事務局 石狩市環境政策課 3名、(株)KITABA 3名

傍聴者：7名

時刻	プログラム
18：30	開会のあいさつ
18：35	■情報提供(石狩市より) <ul style="list-style-type: none">・本日のプログラム・環境に関する社会動向・石狩市の環境政策・市民、事業所アンケート結果
18：50	■Eco 講座(松島 肇 氏より) <ul style="list-style-type: none">・「地球目線から石狩市の環境を考える ～みどりを活かした持続可能で安全・安心な街を目指して～」
19：30	■意見交換の進め方・情報提供 <ul style="list-style-type: none">・意見交換の進め方の説明・「安心・安全」、「自然共生」に関する取組事例の紹介
19：35	■意見交換 <ul style="list-style-type: none">・自己紹介(氏名、居住エリア、参加した理由など)・テーマ①「安心・安全」に関して石狩市の現状と課題・テーマ②「自然共生」に関して石狩市の現状と課題・テーマ③各テーマに関して、20年後の石狩市がどうなっていると 良いか ■発表
20：25	■統括(松島 肇 氏より)
20：30	閉会 <ul style="list-style-type: none">・事務連絡(アンケート、次回の日程調整など)

2. 意見交換の結果

6名のグループに分かれ、「安心・安全」と「自然共生」についての現状と課題、「20年後の石狩市」についての意見交換を行った。以下に、全体のまとめを整理する。

■テーマ①「安心・安全」に関して石狩市の現状と課題

【石狩市の環境の魅力】

- ・石狩浜の海岸砂丘による約12mの自然の防波堤は、とても安心である。
- ・浜益は、海や砂浜が綺麗であり、その他の自然も豊かである。

【防風林を身近に感じている】

- ・オオバナエンレイ草が防風林の中に咲いている。
- ・防風林が住宅の近くにあり、身近に感じることができる。
- ・小学校においても、防風林に関する環境学習の機会がある。
- ・一方で、防風林における枝張の管理などがあまりされていない。

【除雪】

- ・市街地は除雪が大変であり、冬場は安心・安全な環境がない。
- ・高齢者が多い浜益では、雪かきなどをしなくても除雪サービスが行き届いている。

【環境に関する意識】

- ・台風などの災害や大規模な防災の取組などは、社会的問題が大きく自分事とつながりにくい。

【石狩海岸の保護区への対策】

- ・立ち入り禁止区域である石狩海岸の保護地区に侵入する人がいる。

【石狩海岸への不法投棄への対策】

- ・石狩海岸への不法投棄が問題となっている。

【茨戸川の現状】

- ・茨戸川は、以前はにおいがひどいなどの課題があったが、近年は綺麗になったと感じている。

■テーマ②「自然共生」に関して石狩市の現状と課題

【自然と経済のバランスの難しさ】

- ・市内に様々な商業施設や観光施設が誘致されている中、経済と環境は反比例するものであると考えているため、産業振興と自然共生のバランスが課題である。

【環境問題への取組】

- ・節電や太陽光発電などの再生可能エネルギーの推進等は、個人でどの程度まで我慢や努力をすると良いかが不透明である。

【ごみのポイ捨てや不法投棄が多くまちが汚い】

- ・特に市街地に不法投棄が多い。
- ・中央分離帯にごみを投棄する人がおり、雪解け時にごみ問題が露見される。
- ・海水浴に行くと、海や砂浜にごみが多く汚い印象である。
- ・石狩海岸への不法投棄が問題となっている。

【子どもが自然と触れ合える場が少なくなっている】

- ・子どもが自然と触れ合い楽しむ機会や場が少ない。
- ・特に市街地に自然が少ないと感じている。

■テーマ③ 20年後の石狩市がどうなっていると良いか

【災害に強いまち】

- ・再生可能エネルギーや防風林の保安機能などを活用した災害に強いまち。
- ・市と災害協定を締結する企業が増え、市と事業者が協力して防災に取り組むまち。

【石狩浜の環境を残したまち】

- ・石狩浜を現在の豊かな自然環境の状態で残したまち。

【環境について市民の意識が高まっているまち】

- ・市民で環境に関する勉強会などが継続的に開催され、企業や市民同士の交流につなげられるまち。
- ・市民等が防風林における植物などを管理し、市民協働で豊かな環境を残していくまち。
- ・市が実施するリサイクル事業などに、市民等が協働で取り組み、環境を守っていくまち。
- ・石狩市の花である「はまなす」が保護されているまち。
- ・環境問題において、若い世代の意見が取り入れられるまち

【環境問題への取組の検討や実施】

- ・石狩市だからこそできることが取り組まれているまち。
- ・プラスチックの使用が可能な限り低減されているまち。

【子どもが積極的に自然と触れ合えるまち】

- ・学校の周りや地域の公園などの身近なところで自然と触れ合うことができ、子どもたちが将来住みたいと思えるまち。
- ・浜益において、海や山などの豊かな自然を活用し、市内外から訪れる子どもや家族が楽しめるまち。
- ・防風林が残され、木々が青々と繁っているまち。

【ごみが無くキレイなまち】

- ・不法投棄などのごみが無い清潔なまち。
- ・ごみ問題は、個人の意識を変えることで解決できるため、環境に関する意識が醸成されたまち。

【ごみの個別収集の継続】

- ・ごみの個別収集が続けられているまち。

【環境に関する情報公開がなされているまち】

- ・環境問題に取り組んでいる企業などの情報が提供されることで、消費者の行動の変化につながり、市民・企業が共に環境意識の向上が図られているまち。

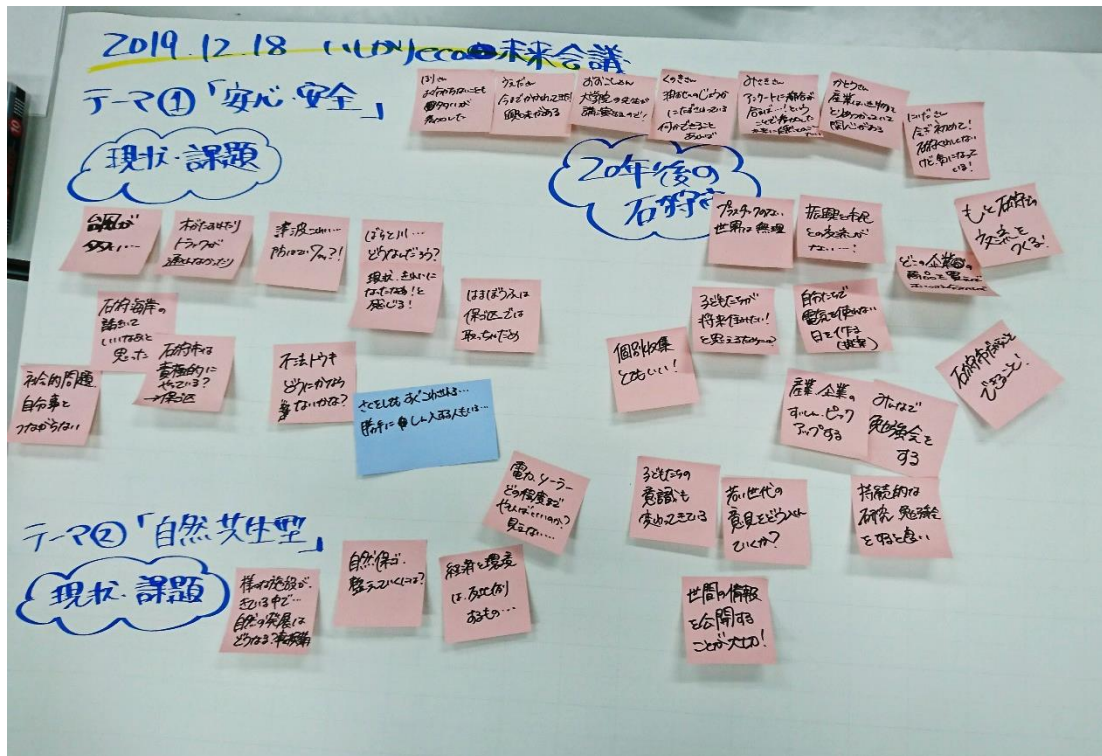
【人々がふれ合い笑顔のあるまち】

- ・隣近所の住民同士の触れ合いや繋がりなどがあることで、安全・安心な住環境が守られているまち。

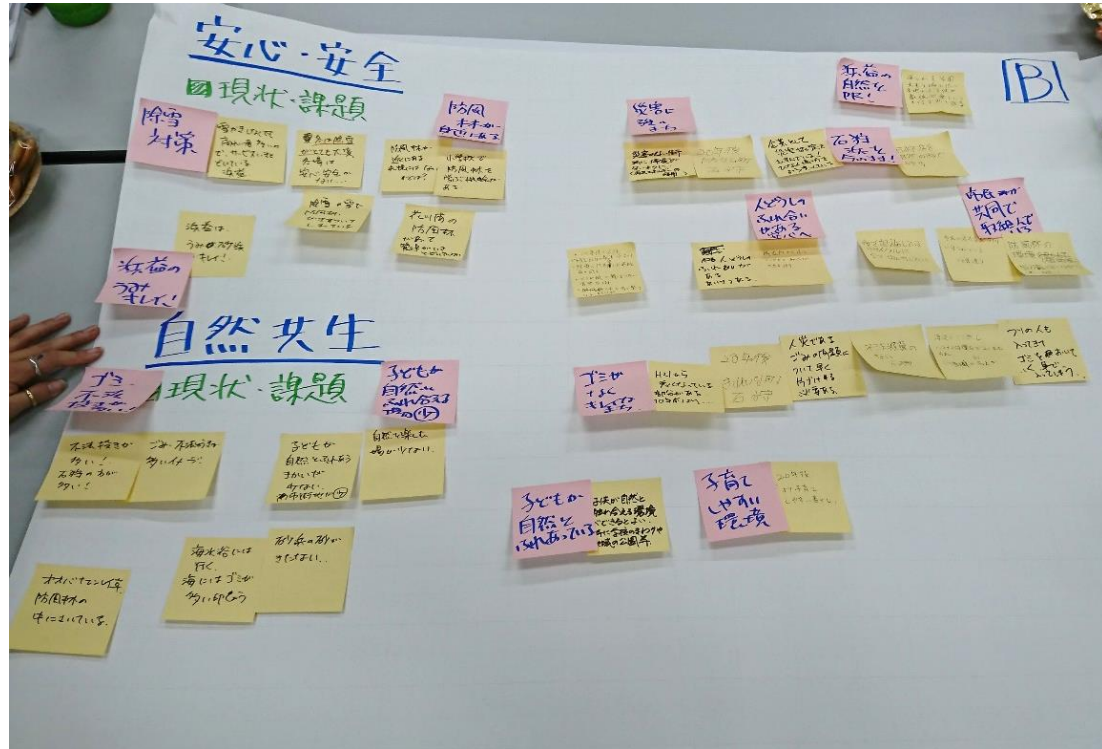
【子育てしやすい環境があるまち】

- ・子育てしやすい暮らしがあるまち。

<A テーブル模造紙>



<B テーブル模造紙>



<市民会議の様子>

